

♪ミュージック・ケアで大切にしていること

・自らが選び、自らが決定し、自らが行動することを大切にしています。

自らがしてみたいと思える気持ちを育てます。

・する人、される人という区別をするのではなく、ケアしあう関係を大切にします。

・効果を急がず、たくわえと待ちのセラピーです。

・豊かな人間性、生き方なども大切にします。

・ミュージック・ケアの場は、何かを無理やりさせたりするのでも

　　何かが人よりも上手にできたり、先にできるようになることでもありません。

今のままの［あなた］を受け止めるところからはじまります。

そして、自らが自分らしく成長しようと思うまで待ち、

自らが何かをしてみたいなと思ったとき、そっと手を差し伸べて援助します。

もう一度本当に人間本来の穏やかで、生き生きと生きようとする気持ちを支え、

ともにケアをしあいながら豊かに成長しあう場です。

　　　　　　　　　　　≪保護者のかたへ≫

☆子どもがやりたくないときには、無理やりさせようとせず、子どもの思いを尊重し、笑顔で見守りながら保護者の方が楽しんでください。

　　みんなと同じことをやってみたいけど、自信がなくてここではできない子、

じっとしていられなくて動いてしまう子など、子どもたちの思いはさまざまです。

保護者の方に抱っこしてもらっていても、まわりを見て楽しんでいます。

違う場所にいても、音楽を聞き、その子なりの楽しみ方をしています。

それでいいのです。

☆集団で行いますので、私語は慎みましょう。

☆服装はズボンなどの動きやすいものでお願いします。

ミュージック・ケアについて

♪ミュージック・ケアとは

音楽の特性を利用して、その人がその人らしく生きるための援助をすることです。

子どもの場合は、その子の持っている力を最大限に発揮させ、発達の援助を行います。

♪ミュージック・ケアのねらい

音楽の特性を生かして、対象者の心身に快い刺激を与え、対人的な関係の質を向上させ、

情緒の回復や安定を図ります。

さらに、運動感覚や知的機能の改善を促し、対象者の心身と生活に好ましい変化を与えます。

♪ミュージック・ケアの特色

集団で行いますが、一人ひとりを大切にし、いちばん身近な人と楽しみます。

音楽は直接、人の情動に働きかけるものなので、数人が心地よく感じると、それがどんどん伝

わっていき、まわりの子どもたちも心地よくなっていきます。

集団で楽しむことで、お互いのエネルギーが相互作用を起こして、大きなひとつの力が働きま

す。この力はとても大切です。

集団のなかで喜びや楽しさを共有することは、心の扉を開くきっかけになります。

‘’友だちと同じようにやりたい‘’意欲をもたせていきます。

ひとつの曲やフレーズのなかで、成功感や達成感を即興的に味わい、喜びは次の活動へと結び

つき、自信となります。

〈講師紹介〉

『きたがわよしこ音楽療法教室　「てく・てく」　』

音楽療法士　　さん

NPO法人日本ミュージック・ケア協会　認定指導者・理事

日本音楽療法学会　認定音楽療法士

乳幼児発達相談員

福山市　神村交流館　神村コミュニティセンター

℡（０８４）９３４－３４４５

✉　kamura-community@city.fukuyama.hiroshima.jp

子どもの心や身体から見せる表現を見逃さない 大人の目 を育てていくことで、共に喜び合え

る関係を築いていきます。

♪ミュージック・ケアの主な効果

●関係性の発見と改善　　●発達の促進

●コミュニケーション　　●リラクゼーション

●情緒の安定　　　　　　●注意集中力

●不安行動の軽減　　　　●集団参加への促進

●自己コントロール　　　●生きがい

●身体機能の誘発・促進（リハビリ効果・発達援助）